

# 令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 奈良県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	五條病院	2
奈良市	市立奈良病院	3
大和高田市	大和高田市立病院	4
生駒市	生駒市立病院	5
宇陀市	宇陀市立病院	6
国保中央病院組合	国保中央病院	7
南和広域医療企業団	南奈良総合医療センター	8
南和広域医療企業団	吉野病院	9
南和広域医療企業団	五條病院	10

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		奈良県	
市町村・組合名			
病院名	五條病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,324,473	
決算規模(千円)	594,644,618	
標準財政規模(千円)	336,500,795	
財政力指数	0.40953	
経常収支比率(%)	89.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	112.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16			
1 経常収益	16			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	16			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	16			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16			
2 経常費用	16			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	-	-	8.7	10.2
経費	-	-	22.1	28.8
(うち委託料)	-	-	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	16			
(うち支払利息)	16	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	104.5
医業収支比率	-		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	-		91.9	88.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	16
資本勘定繰入	-	593
計	-	609

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				奈良県	
市町村・組合名	奈良市				
病院名	市立奈良病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	I未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	29,064 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	30	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	349	80.3	75.7	78.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	1	66.8	86.0	78.6
計	350	80.3	75.8	78.4
平均在院日数(一般病床のみ)		10.5	10.1	10.5

設立団体の状況		
人口(人)	354,630	
決算規模(千円)	151,061,622	
標準財政規模(千円)	81,083,056	
財政力指数	0.73	
経常収支比率(%)	96.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	90.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,822,854			
1 経常収益	1,816,160			
(1) 医業収益	58,625			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	58,625			
(うち他会計負担金)	58,625			
(2) 医業外収益	1,757,535			
(うち国・都道府県補助金)	1,064,179			
(うち他会計補助・負担金)	440,456			
(うち長期前受金戻入)	206,944			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,694			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,886,165			
2 経常費用	1,881,995			
(1) 医業費用	1,753,644			
職員給与費	28,091	47.9	59.4	59.0
材料費	-	-	26.1	25.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	272,326	464.5	8.7	8.6
経費	1,453,227	2478.9	22.1	21.3
(うち委託料)	1,451,519	2475.9	11.7	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	128,351			
(うち支払利息)	503	0.9	1.0	1.1
(3) 特別損失	4,170			
損益	-65,835			
純損益	-63,311			
累積欠損金	1,828,639			
経常収支比率	96.5		103.3	104.8
医業収支比率	3.3		85.5	87.0
修正医業収支比率	-		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	27.5		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	851.3		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	27.4		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	70.0		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,861,374
1 固定資産	6,115,104
(1) 有形固定資産	6,113,129
(2) 無形固定資産	1,975
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	746,270
(1) 現金及び預金	286,240
(2) 未収金及び未収収益	461,104
(3) 貸倒引当金( )	1,074
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	6,366,601
1 固定負債	3,433,830
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,433,336
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	494
2 流動負債	891,382
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	181,153
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リ一ス債務	1,481
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	707,509
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,041,389
(1) 長期前受金	3,396,440
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,355,051
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	494,773
1 資本金	1,353
2 剰余金	493,420
(1) 資本金剰余金	2,322,059
(2) 利益剰余金	-1,828,639
負債・資本合計	6,861,374
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	504,510	499,081
資本勘定繰入	91,399	48,857
計	595,909	547,938

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3119.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				奈良県	
市町村・組合名	大和高田市				
病院名	大和高田市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	24,530 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨 災		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	320	74.8	73.5	69.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	320	74.8	73.5	69.3
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	10.8	10.7

設立団体の状況		
人口(人)	61,744	
決算規模(千円)	28,462,134	
標準財政規模(千円)	15,640,812	
財政力指数	0.47	
経常収支比率(%)	98.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	25.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,230,284			
1 経常収益	9,229,251			
(1) 医業収益	7,948,348			
(うち修正医業収益)	7,728,451			
入院収益	5,004,437			
外来収益	2,521,851			
診療収入計	7,526,288			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	422,060			
(うち他会計負担金)	219,897			
(2) 医業外収益	1,280,903			
(うち国・都道府県補助金)	736,229			
(うち他会計補助・負担金)	278,096			
(うち長期前受金戻入)	145,128			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,033			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,431,668			
2 経常費用	8,425,657			
(1) 医業費用	7,938,329			
職員給与費	4,691,223	59.0	59.4	59.0
材料費	1,560,280	19.6	26.1	25.6
(うち薬品費)	870,325	10.9	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	645,633	8.1	11.8	11.2
減価償却費	334,138	4.2	8.7	8.6
経費	1,319,097	16.6	22.1	21.3
(うち委託料)	832,689	10.5	11.7	11.6
研究研修費	11,509			
資産減耗費	22,082			
(2) 医業外費用	487,328			
(うち支払利息)	42,521	0.5	1.0	1.1
(3) 特別損失	6,011			
損益	803,594			
純損益	798,616			
累積欠損金	-			
経常収支比率	109.5		103.3	104.8
医業収支比率	100.1		85.5	87.0
修正医業収支比率	97.4		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	5.4		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	6.3		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	5.4		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	103.6		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,281,550
1 固定資産	4,902,562
(1) 有形固定資産	4,791,190
(2) 無形固定資産	1,823
(3) 投資その他の資産	109,549
2 流動資産	2,378,988
(1) 現金及び預金	632,763
(2) 未収金及び未収収益	1,730,671
(3) 貸倒引当金( )	9,245
(4) 貯蔵品	24,799
3 繰延資産	-
負債合計	5,207,707
1 固定負債	3,406,302
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,229,879
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,176,423
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,449,187
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	660,867
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	312,089
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	464,225
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	352,218
(1) 長期前受金	774,167
(2) 長期前受金収益化累計額( )	421,949
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,073,843
1 資本金	521,267
2 剰余金	1,552,576
(1) 資本剰余金	225,879
(2) 利益剰余金	1,326,697
負債・資本合計	7,281,550
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	601,136	497,993
資本勘定繰入	331,874	127,307
計	933,010	625,300

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				奈良県	
市町村・組合名	生駒市				
病院名	生駒市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,094 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	210	56.9	50.8	51.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	210	56.9	50.8	51.3
平均在院日数(一般病床のみ)		14.3	13.4	14.5

設立団体の状況		
人口(人)	116,675	
決算規模(千円)	42,293,947	
標準財政規模(千円)	24,500,418	
財政力指数	0.77	
経常収支比率(%)	90.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,676,451			
1 経常収益	1,670,716			
(1) 医業収益	80,055			
(うち修正医業収益)	11,705			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	80,055			
(うち他会計負担金)	68,350			
(2) 医業外収益	1,590,661			
(うち国・都道府県補助金)	1,114,800			
(うち他会計補助・負担金)	135,283			
(うち長期前受金戻入)	98,723			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,735			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,617,366			
2 経常費用	1,611,602			
(1) 医業費用	1,599,960			
職員給与費	17,512	21.9	59.4	63.7
材料費	-	-	26.1	21.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	386,186	482.4	8.7	9.7
経費	1,196,262	1494.3	22.1	28.9
(うち委託料)	14,666	18.3	11.7	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	11,642			
(うち支払利息)	6,721	8.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	5,764			
経常損益	59,114			
純損益	59,085			
累積欠損金	837,770			
経常収支比率	103.7		103.3	101.8
医業収支比率	5.0		85.5	80.8
修正医業収支比率	0.7		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	12.2		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	254.4		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	12.1		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	91.0		91.9	89.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,078,128
1 固定資産	5,589,560
(1) 有形固定資産	5,585,008
(2) 無形固定資産	4,552
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	488,568
(1) 現金及び預金	44,715
(2) 未収金及び未収収益	443,853
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	6,715,898
1 固定負債	4,318,872
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	729,408
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	3,437,324
(5) その他の長期借入金	152,140
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,377,044
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	919,703
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,486
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	455,655
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,019,982
(1) 長期前受金	1,765,252
(2) 長期前受金収益化累計額( )	745,270
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-637,770
1 資本金	200,000
2 剰余金	-837,770
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-837,770
負債・資本合計	6,078,128
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	637,770
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	81,675	203,633
資本勘定繰入	491,171	242,645
計	572,846	446,278

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1046.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				奈良県	
市町村・組合名	宇陀市				
病院名	宇陀市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	16,249 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	176	58.0	63.5	72.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	176	58.0	63.5	72.9
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	22.9	22.9

設立団体の状況		
人口(人)	28,121	
決算規模(千円)	19,480,722	
標準財政規模(千円)	11,085,459	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	94.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	84.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,215,358			
1 経常収益	4,215,313			
(1) 医業収益	2,943,667			
(うち修正医業収益)	2,897,073			
入院収益	1,736,294			
外来収益	1,056,983			
診療収入計	2,793,277			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	150,390			
(うち他会計負担金)	46,594			
(2) 医業外収益	1,271,646			
(うち国・都道府県補助金)	733,027			
(うち他会計補助・負担金)	276,278			
(うち長期前受金戻入)	27,762			
(うち資本費繰入収益)	188,353			
(3) 特別利益	45			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,799,622			
2 経常費用	3,799,509			
(1) 医業費用	3,629,948			
職員給与費	1,839,671	62.5	59.4	67.0
材料費	540,969	18.4	26.1	18.2
(うち薬品費)	195,886	6.7	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	345,047	11.7	11.8	9.4
減価償却費	322,650	11.0	8.7	10.2
経費	920,371	31.3	22.1	28.8
(うち委託料)	405,347	13.8	11.7	13.2
研究研修費	5,020			
資産減耗費	1,267			
(2) 医業外費用	169,561			
(うち支払利息)	35,585	1.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	113			
損益	415,804			
純損益	415,736			
累積欠損金	2,049,986			
経常収支比率	110.9		103.3	104.5
医業収支比率	81.1		85.5	80.1
修正医業収支比率	79.8		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	7.7		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	11.0		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	7.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	102.4		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,483,681
1 固定資産	3,503,620
(1) 有形固定資産	3,473,388
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	30,232
2 流動資産	1,980,061
(1) 現金及び預金	1,047,279
(2) 未収金及び未収収益	929,952
(3) 貸倒引当金( )	840
(4) 貯蔵品	3,670
3 繰延資産	-
負債合計	3,648,158
1 固定負債	2,477,479
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,178,479
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	299,000
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	728,082
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	276,711
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	127,270
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	316,671
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	442,597
(1) 長期前受金	802,730
(2) 長期前受金収益化累計額( )	360,133
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,835,523
1 資本金	3,591,827
2 剰余金	-1,756,304
(1) 資本剰余金	293,682
(2) 利益剰余金	-2,049,986
負債・資本合計	5,483,681
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	316,138	322,872
資本勘定繰入	173,445	208,353
計	489,583	531,225

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	69.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				奈良県	
市町村・組合名	国保中央病院組合				
病院名	国保中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,249 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	11	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	220	50.1	51.4	53.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	220	50.1	51.4	53.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.2	14.4	15.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,918,989			
1 経常収益	3,918,989			
(1) 医業収益	2,773,628			
(うち修正医業収益)	2,701,111			
入院収益	1,783,208			
外来収益	811,595			
診療収入計	2,594,803			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	178,825			
(うち他会計負担金)	72,517			
(2) 医業外収益	1,145,361			
(うち国・都道府県補助金)	807,230			
(うち他会計補助・負担金)	227,314			
(うち長期前受金戻入)	81,969			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,348,414			
2 経常費用	3,345,795			
(1) 医業費用	3,222,996			
職員給与費	2,036,375	73.4	59.4	63.7
材料費	457,254	16.5	26.1	21.0
(うち薬品費)	224,978	8.1	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	211,204	7.6	11.8	10.1
減価償却費	206,307	7.4	8.7	9.7
経費	511,111	18.4	22.1	28.9
(うち委託料)	289,694	10.4	11.7	13.6
研究研修費	8,416			
資産減耗費	3,533			
(2) 医業外費用	122,799			
(うち支払利息)	14,376	0.5	1.0	1.1
(3) 特別損失	2,619			
損益	573,194			
純損益	570,575			
累積欠損金	-			
経常収支比率	117.1		103.3	101.8
医業収支比率	86.1		85.5	80.8
修正医業収支比率	83.8		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	7.7		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	10.8		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	7.7		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	108.2		91.9	89.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,257,960
1 固定資産	2,869,676
(1) 有形固定資産	2,866,609
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	3,067
2 流動資産	4,388,284
(1) 現金及び預金	3,775,924
(2) 未収金及び未収収益	615,189
(3) 貸倒引当金( )	2,829
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,012,484
1 固定負債	1,634,600
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	647,051
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	987,549
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	518,652
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	153,273
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	213,297
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	136,169
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	859,232
(1) 長期前受金	1,490,379
(2) 長期前受金収益化累計額( )	631,147
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	4,245,476
1 資本金	852,404
2 剰余金	3,393,072
(1) 資本金剰余金	476,722
(2) 利益剰余金	2,916,350
負債・資本合計	7,257,960
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	305,715	299,831
資本勘定繰入	193,251	109,048
計	498,966	408,879

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				奈良県	
市町村・組合名	南和広域医療企業団				
病院名	南奈良総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	22,396 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	228	88.4	83.7	88.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	35.2	36.6	36.7
計	232	87.5	82.9	87.7
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	13.5	12.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,435,838			
1 経常収益	9,435,838			
(1) 医業収益	7,453,041			
(うち修正医業収益)	7,237,322			
入院収益	4,368,033			
外来収益	2,551,584			
診療収入計	6,919,617			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	533,424			
(うち他会計負担金)	215,719			
(2) 医業外収益	1,982,797			
(うち国・都道府県補助金)	851,391			
(うち他会計補助・負担金)	418,976			
(うち長期前受金戻入)	610,150			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,862,172			
2 経常費用	8,804,711			
(1) 医業費用	8,313,205			
職員給与費	4,282,907	57.5	59.4	63.7
材料費	1,713,313	23.0	26.1	21.0
(うち薬品費)	866,811	11.6	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	846,395	11.4	11.8	10.1
減価償却費	661,088	8.9	8.7	9.7
経費	1,639,878	22.0	22.1	28.9
(うち委託料)	1,048,613	14.1	11.7	13.6
研究研修費	16,019			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	491,506			
(うち支払利息)	28,050	0.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	57,461			
損益	631,127			
純損益	573,666			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.2		103.3	101.8
医業収支比率	89.7		85.5	80.8
修正医業収支比率	87.1		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	6.7		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.5		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	6.7		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	89.2

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,914,767
1 固定資産	10,518,344
(1) 有形固定資産	10,470,688
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	47,656
2 流動資産	5,396,423
(1) 現金及び預金	3,286,298
(2) 未収金及び未収収益	1,920,642
(3) 貸倒引当金( )	600
(4) 貯蔵品	43,785
3 繰延資産	-
負債合計	11,915,724
1 固定負債	5,881,742
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,284,821
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	218,477
(6) 引当金	1,378,444
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,601,723
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	209,828
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	53,772
(5) 引当金	369,635
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	926,400
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,432,259
(1) 長期前受金	13,941,980
(2) 長期前受金収益化累計額( )	9,509,721
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,999,043
1 資本金	1,000,000
2 剰余金	2,999,043
(1) 資本金剰余金	1,370,037
(2) 利益剰余金	1,629,006
負債・資本合計	15,914,767
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	574,377	634,695
資本勘定繰入	214,497	219,194
計	788,874	853,889

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				奈良県	
市町村・組合名	南和広域医療企業団				
病院名	吉野病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,843 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	50	84.0	84.2	82.7
療養	46	79.9	92.5	93.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	96	82.0	88.2	87.8
平均在院日数(一般病床のみ)		19.0	19.0	19.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,126,812			
1 経常収益	1,126,812			
(1) 医業収益	924,726			
(うち修正医業収益)	881,108			
入院収益	666,269			
外来収益	185,994			
診療収入計	852,263			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	72,463			
(うち他会計負担金)	43,618			
(2) 医業外収益	202,086			
(うち国・都道府県補助金)	3,835			
(うち他会計補助・負担金)	131,202			
(うち長期前受金戻入)	63,288			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,069,994			
2 経常費用	1,069,994			
(1) 医業費用	1,035,626			
職員給与費	597,162	64.6	59.4	76.5
材料費	87,306	9.4	26.1	14.9
(うち薬品費)	40,647	4.4	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	46,659	5.0	11.8	6.4
減価償却費	74,299	8.0	8.7	11.5
経費	276,809	29.9	22.1	32.6
(うち委託料)	170,867	18.5	11.7	14.8
研究研修費	50			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	34,368			
(うち支払利息)	-	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	56,818			
純損益	56,818			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.3		103.3	101.5
医業収支比率	89.3		85.5	73.2
修正医業収支比率	85.1		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	15.5		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	18.9		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	15.5		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	89.0		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,914,767
1 固定資産	10,518,344
(1) 有形固定資産	10,470,688
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	47,656
2 流動資産	5,396,423
(1) 現金及び預金	3,286,298
(2) 未収金及び未収収益	1,920,642
(3) 貸倒引当金( )	600
(4) 貯蔵品	43,785
3 繰延資産	-
負債合計	11,915,724
1 固定負債	5,881,742
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,284,821
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	218,477
(6) 引当金	1,378,444
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,601,723
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	209,828
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	53,772
(5) 引当金	369,635
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	926,400
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,432,259
(1) 長期前受金	13,941,980
(2) 長期前受金収益化累計額( )	9,509,721
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,999,043
1 資本金	1,000,000
2 剰余金	2,999,043
(1) 資本剰余金	1,370,037
(2) 利益剰余金	1,629,006
負債・資本合計	15,914,767
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	135,179	174,820
資本勘定繰入	18,237	13,482
計	153,416	188,302

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				奈良県	
市町村・組合名	南和広域医療企業団				
病院名	五條病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,366 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	45	87.2	86.6	85.6
療養	45	66.2	54.0	55.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	76.7	70.3	70.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.1	17.1	20.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,070,538			
1 経常収益	1,070,538			
(1) 医業収益	776,242			
(うち修正医業収益)	745,390			
入院収益	577,665			
外来収益	148,709			
診療収入計	726,374			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	49,868			
(うち他会計負担金)	30,852			
(2) 医業外収益	294,296			
(うち国・都道府県補助金)	2,609			
(うち他会計補助・負担金)	102,838			
(うち長期前受金戻入)	188,477			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,035,569			
2 経常費用	1,035,569			
(1) 医業費用	1,002,490			
職員給与費	511,253	65.9	59.4	76.5
材料費	68,389	8.8	26.1	14.9
(うち薬品費)	31,604	4.1	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	36,783	4.7	11.8	6.4
減価償却費	195,949	25.2	8.7	11.5
経費	226,780	29.2	22.1	32.6
(うち委託料)	150,028	19.3	11.7	14.8
研究研修費	119			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	33,079			
(うち支払利息)	-	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	34,969			
純損益	34,969			
累積欠損金	92,015			
経常収支比率	103.4		103.3	101.5
医業収支比率	77.4		85.5	73.2
修正医業収支比率	74.4		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	12.5		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	17.2		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	12.5		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	90.5		91.9	78.8

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,914,767
1 固定資産	10,518,344
(1) 有形固定資産	10,470,688
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	47,656
2 流動資産	5,396,423
(1) 現金及び預金	3,286,298
(2) 未収金及び未収収益	1,920,642
(3) 貸倒引当金( )	600
(4) 貯蔵品	43,785
3 繰延資産	-
負債合計	11,915,724
1 固定負債	5,881,742
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,284,821
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	218,477
(6) 引当金	1,378,444
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,601,723
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	209,828
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	53,772
(5) 引当金	369,635
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	926,400
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,432,259
(1) 長期前受金	13,941,980
(2) 長期前受金収益化累計額( )	9,509,721
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,999,043
1 資本金	1,000,000
2 剰余金	2,999,043
(1) 資本金剰余金	1,370,037
(2) 利益剰余金	1,629,006
負債・資本合計	15,914,767
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	106,545	133,690
資本勘定繰入	4,446	2,949
計	110,991	136,639

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。